

特集

地域衰退をどう食い止めるか?—地域活性化と持続可能な地域づくり—
「あいさつ」

諸 富 徹 (京都大学大学院経済学研究科 教授)

本日は財政研シンポのために皆さま、ご参画をいただきまして、ありがとうございます。おそらく財政研シンポで地域の衰退や再生というテーマを扱うのは久しぶりかと思えます。伝統的に財政研は、一この問題に先輩方、今日もご参画いただいておりますけれども一多くの先輩方が取り組んできたテーマでもあり、私自身も大変関心を持っているテーマであります。

今日は3名のパネリストと言いますか、講演者の皆さまをお迎えしてシンポジウムを開催することになりました。宮崎先生(埼玉大学)は地方財政の専門家で、これまでに顕著な業績を上げてこられました。最近、岩波新書『地域衰退』(2021年刊)を出されまして、大変多くの方々に読まれております。私も読ませていただきました。

また藤山先生(持続可能な地域社会総合研究所)は、一藤山先生と初めてお会いしてからは長くなるかと思いますが一きめ細かな人口分析に基づく将来シミュレーションによ

り、農山村の説得力に富む再生戦略を提示される点で定評があります。代表的なご著作に『田園回帰1%戦略—地元の人と仕事を取り戻す』(農文協、2015年刊)があります。いつも刺激的な議論を提起をされていて、私も多く学ばせていただいております。

また、3人目の佐無田先生は、私の横浜国大時代に彼が大学院生だった頃からのお付き合いですからだいぶ長いですね、地域経済分析の専門家で、地域の「内発的発展」のあり方を探求しておられます。これまでも、いろいろと研究プロジェクトでもご一緒させていただきました。

そういうことで、これらの先生方にまずは講演いただき、その問題提起を受けて、われわれでディスカッションをすることができればと考えています。全体を通じまして、地域の衰退、そして再生に向けて、これから考えていくヒントを得ることができればと思います。どうぞよろしく願いいたします。